

**令和3年度 第1回  
学校関係者評価委員会 信頼される鹿商のための委員会**

1 開催日時

令和3年7月14日（水）に開催予定であった第1回学校関係者評価委員会は、感染症拡大予防の観点から書面会議とし、質疑及び助言等を書面で求めた。

2 委員からの質疑及び提言等への回答

**【教務部関係】**

- ・ 習熟度別学級は大いに結構ですが、部活との関係で将来「企業内スポーツ」経営者を育成するスポーツクラスの編成はどうか。  
→ 「スポーツクラス」の編成は、履修科目等の問題があり、編成をする場合には、今後検討が必要である。
- ・ 先生方の相互参観は大いに結構。ただ、読書の奨励がないのはどうでしょうか。  
→ 「読書」への取組は、生徒指導部読書指導係で「朝読書」を企画し、水曜日と金曜日の朝10分間の朝読書を実施している。
- ・ HP内のブログを開設し、各自のパソコンから更新出来るとありますが、ブログの閲覧が増えたのか、どうなのかの検証はされているかが問題です。  
→ ブログの閲覧が増えたかどうかは検討していないが、必要な情報はHPに掲載し、生徒や保護者に閲覧するよう伝えている。
- ・ 近隣住民の迷惑とは、今まで苦情等が来たことがあったのかお聞きしたい。  
→ 「体育祭（練習を含む）時の放送がうるさい」という苦情が寄せられたことがある。
- ・ 地域行事への積極的参加に対しては、協力が必要な時ではなく、学校側から積極的に参加表明したら如何でしょうか。
- ・ 「土曜学校説明会」（6月26日）は、本年は、1回限りでしょうか。  
→ 第2回を10月に予定している。
- ・ 「夜間学校説明会」（昨年6月29日実施）が、本年に、計画がないのはどうしてでしょうか。  
→ 「夜間学校説明会」を「土曜学校説明会」に変更した。

**【生徒指導部関係】**

- ・ 自転車通学生のヘルメット着用は、是非お奨めください。朝の交通指導で「ひやっ」としたこともあります。  
→ 自転車乗車時のヘルメット着用については、県の条例に基づいて着用を努めるよう文書等に記載している。通学時に着用している生徒もいる。
- ・ 時には立哨指導をされてはどうか。隣の坂元台小の校長先生はよく来られます。  
→ 今年は、自転車の通学路を中心に不定期で立哨指導に行くようにしている。
- ・ 本年度の目標は、今まで出来ていない事の裏返し。継続的にせざる得ない事は理解しますが、毎年同じ事を目標にしていますか。  
→ 本年度の目標には、生徒指導部として取り組むべき内容を掲載している。新生生には一通りの指導が必要であり、また上級生になっても継続的に指導や対策が必要であることを御理解いただきたい。なお、年度末には年間反省を行い、課題や改善点等を整理して、次年度の具体的指導に生かすよう努めている。

## 【進路指導部関係】

- ・ 本年度の目標、目標の具現化、系統的、横断的実践に関連して。

情報化時代の企業人のあり方を実感させるため、情報関係の科目に先輩企業人の非常勤講師を活用したらとOB友人の意見です。人選は同窓会と相談して附言しました。先輩と同窓会は鹿商の貴重なキャリア教育資源だと思われれます。鹿中央高校創設期のことを考えると校長訓話の一つに“よし自分も”と決めたことが後々の進路に大きな影響を与えています。そんな卒業生がかなりいます。先生方の言動はもちろん、先輩方の役割も大きいと思います。
- ・ 保護者への情報提供を密にするとありますが、具体的に遣っている事、進路指導部担任・部活監督等との連携は出来ていますか。
  - 進路指導部からの情報提供はPTA総会資料や三者面談資料、また月1回発行している進路だより(1・2年生向け、3年生向け)等を通して行っている。

昨年度、進路資料室に2台のパソコンを設置し、リモートの職場見学やインターネットを使用しての企業研究に活用している。また、今年度より就職の求人公開については、頂いた求人の一覧を全生徒・保護者に配布し、自宅でも就職の検討が行いやすい環境を整えた。さらに、情報漏洩防止の観点から求人票のコピーはこれまで認めていなかったが、今年からルールを定めた上で求人票のコピーを認めるようにした。これにより、具体的な項目も含めた受験先の検討が家庭でもできるようになったと考えられる。

1・2年時の各担任の進路指導をより深めるために、これまで3年生の教員・生徒のみに配布していた『進路の手引き』を全職員に配布を行った。
- ・ キャリア教育の充実とあり、継続的なプロセス、働く事にまつわる「生き方」そのものであると捉え、卒業後に向けたキャリア教育の充実を目指す事は、とても素晴らしい事です。
  - 活躍されているOBの方々の協力を得ての活動は、後述する「キャリア理解講座」を昨年度実施しましたが、卒業生の力を借りたキャリア教育はまだまだ大きな可能性を有していると思います。今後更に検討し、生徒に還元していきたいと思っています。
- ・ 各行事に対し、どのような反応があり、どう変わったの期日の積み重ねが大事かと思いますが、継続的に蓄積されていますか。
  - 5月17日(1・2年生)クレペリン検査・職業適性検査

1学年に実施しているクレペリン検査については、形骸化している面もあるので、廃止も含め検討中である。職業適性検査については、1学期の統一LHR等での活用を予定していたが、行事が重なり実施が出来なかった。しかし、各クラスでキャリア教育の一環として時間を取ってもらい、個票の返却と個票の見方、適性および自己理解の大切さなどの指導を行った。

6月8日(3年生)鹿児島アリーナで開催された進路ガイダンスに参加  
コロナ禍であったが進学希望者約100名で参加した。進路に関する相談会でもあるが、他校の生徒の進路に向けての姿勢などが刺激になった。

6月28日(3年生)小論文・作文模試の実施  
国語科の「国語表現」という科目と連携し国語科の先生方の指導の協力を得ながら小論文・作文模試を実施している。小論文の難しさや書き上げる大変さなどを理解してもらい、事後の小論文早期指導に生かしている。今年度より、2年生の2学期にも小論文・作文模試を計画している。これは、3年次により高いレベルの小論文模試を実施するための布石と考えている。

7月6日(3年生)ステップアップセミナー  
(就職指導セミナー・小論文セミナー・公務員セミナー)の実施

鹿児島市の雇用労政課と連携した就職セミナーを実施している。内容は具体的な面接指導である。模擬面接では、自分のことばで表現する力がまだまだだと感じる生徒が多かったようだ。今年度は初めての試みとして、小論文の塾講師をされている方を読んで、小論文指導を実施した。生徒も積極的に聞いており、良い例・悪い例などを学び充実していた。公務員セミナーは東京アカデミーの講師を招いて夏に向けての公務員対策のガイダンスを行った。また鹿児島県警・自衛隊を招いてのガイダンスも実施した。

7月14日 (3年生)SPI模試の実施

就職試験対策として、就職試験で最も課されているSPIの模試を実施した。今年で3年目となる取組みである。

8月3・4日 (2年生)グレード・アップゼミに参加予定(希望する県内の高校生が参加し、レベル向上を目的とした特別講座)

本校から初めての参加で、2年生3名が参加予定である。県内の進学を目標とする生徒と同じ教室で授業を受けることで刺激を受けてくれることを期待している。

2学期 (2年生) 小論文模試の実施は先述の通り。

3学期 (1年生)職場体験学習(インターンシップ)

今年度のインターンシップも実施は困難であると考えている。

昨年度は、代替行事として「鹿商キャリア理解講座」を実施し、鹿商卒業3年目の先輩方を招いて仕事内容ややりがいなどを講話してもらった。今年度も同じ企画を検討中である。

3学期 (1・2年生)合格者体験発表

→ 発表に加え、模擬面接・パネルディスカッションを実施した。就職試験時の面接の再現と意見・感想・反省を在校生に示した。

模擬面接では、堂々とした先輩たちの受け答えを見聞きして、自分にもできるか不安に思う生徒もいたようだ。パネルディスカッションは3年生の本音を聞けて、進路決定に向けて参考になったようであった。

12月・3月 (1・2年生)進路ガイダンスの実施予定

→ 大学・専門学校に加え、就職(仕事)についての理解も深める。

今年度は3月実施予定のガイダンスに、ベネッセの協力を得て、国公立大を目指す生徒のための講座を開催しようと計画している。

通年 (全学年)キャリア・パスポート

→ 年7回、定期的実施することで、長期・中期・短期目標の過程と振り返りの積み重ねを目指す。

通年 (全学年)各学期に1回 統一LHRを実施

進路について学び、キャリア研究に取り組む。

- 主な進学先・就職先でも卒業後の追跡もしっかりフォローしていれば二号館廊下に、もっと輝かしいものが並ぶような気がします。  
→ 卒業生の追跡については、専門学校に進学した生徒については学校側から多くの資料の提供を受けている。就職先については企業によって温度差が激しい。大学も同様になかなか情報の提供が受けられていない状況である。進路指導部全体として情報収集に取り組む方策の必要性を感じている。
- 進路状況で、進学率(60%)が就職(39.5%)より多くなったことは、初めてのことでないでしょうか。このことについて、学校としてどのように捉えておられるのでしょうか。  
→ 本県商業高校及び商業の課程を設置している高校の多くは、進学率が高くなって

いる傾向にある。その中でも本校は、就職率が高い方だと思われるが、生徒、保護者の進路に対する多様化、コロナを含めた社会情勢の変化等、今後分析を深めることが必要がある。

#### 【保健部関係】

- ・ 昨年「新型コロナウイルス感染症対策」をカットされたのは、どうしてでしょうか。  
→ 第2回の委員会でお示し、説明したいと考えている。

#### 【商業科関係】

- ・ 「プログラミング出前講座」を坂元台小だけでなく坂元小、坂元中とも連携してはどうか。  
→ 御指摘があったとおり、「プログラミング出前講座」については、今年度は、坂元台小学校だけではなく近隣の小学校にも出前授業ができるように計画が進んでいます。

#### 【その他】

- ・ 公立学校生徒募集定員策定の説明会に出席しました。県教委の既成事実のための説明会であったと認識しますが、錦江湾校長の普通高校であっても特色があれば、県外からでも生徒募集して良いかの切実な強い想いは感動しました。  
鹿商より厳しい生徒募集と認識しましたが、我が鹿商も早々に鹿児島に適した学科再編を行って行くべきと痛感しました。  
この会では論外な話と思いますが、「勢い」のない学校に残れるはずもなく、私学の死活問題と違う土俵を感じています。余談ながら、あらゆる事を模索し、研究し、改革すべき時と思います。
- ・ 「新聞記事に見る本校の教育活動」のプリントの作成、御苦勞様です。生徒さんたちの活躍ぶりを楽しみに拝読しています。
- ・ 少子高齢化の大きな曲角の時代にあって、応募状況、学科編成等に御苦勞が多いと拝察します。特に実学教育の学校でありながら、工学や家政学等の高校生に比較して不安の表情を見せる登下校の中の本校生徒と会うと、先生方や先輩方の思いが偲ばれてなりません。ただ、素人考えに過ぎませんが、生まれた20年(30年とも)の閉塞感に、2025年問題、コロナ禍等の不安要素を併せ考えると、鹿商伝統の実学再評価しか打開策はないように思います。